

# 伝説のバンドマンズイッパ

きやくほん・井上悠介

とうじょうじんぶつ

ケーシー／ギターリスト（しゅじんこう）

クリス／ボーカル

ステファニー／ドラム

マクドナルド／キーボード

さいしゅうわ

ナレ「アルバのせつとくによりマクドナルドがメンバーにくわわった。これでついにバンドメンバーがぜんいんしゅうけつ。はじめてのライブにむけてれんしゅうをかさねるひびをおくっていた」

ぶたいじょうにアルバ・クリス・ステファニー・マクドナルド。れんしゅうをしている。

マクドナルド「お、いいかんじじゃないか？」

アルバ「いや、まだだ。なにかがたりない！」

ステファニー「そう？ はじめのライブにしてはじょうできだとおもうけど」

アルバ「でも、ひとまえではじめてやるライブは、せめてじぶんだけでもなっとくできるおんがくにしたんだ」

ステファニー「そう・・・」

クリス「アルバ。なにがたりないかわかるか？」

アルバ「それがわからないからくるしいんだ！」

クリス「アルバ。おしえてやる。ステファニーもマクドナルドもきいてくれ。このバンドに今たりないもの。それは心だ」

ほか三人「・・・心？」

クリス「ああ。心。そしてマインドだ。おれたちのもくひょうはなんだ？ それがさだめられてないからおんがくもふわふわしているんじゃないのか？」

アルバ「おれたちのもくひょう・・・。それは、でんせつになること」

いちどう「ああ！」

アルバ「そうだ！ じぶんたちのすきなおんがくででんせつになること！ ステファニー」

ー

ステファニー「はい」

アルバ「マクドナルド！」

マクドナルド「はい」

アルバ「そしてクリスマス！」

クリス「はい」

アルバ「おれたちにしかできないおんがく、やってやろうぜ！」

ナレ「こうしてあらためて心を一つにしたバンドメンバーたち。しかしじかんっていうやつはさんこくだ。むじひに一日、また一日と過ぎていき、ついに、ほんばんの日はやってきた」

しもてがわでサス。ぶたいうら。

クリス「みろ、アルバ。たくさんのきゃくがきている」

アルバ「ほんとうだ。どきどきしてきた」

クリス「だいじょうぶだ。みんなのかおをってみろ。おまえならできる。さいここのパフオーマンスをな」

アルバ「ありがとう。クリス」

マクドナルド「あ、あれは！」

ナレ「なんと、ライブかいじょうにはぼうおおておんがくプロデューサー・チズ、そしてメンバーはだれもきづいていないが、人しれずうわさをききつけてやってきたアルバのおさななじみでクリスのもとカノであるメアリーのすがたがあった」

アルバ「どうしたマクドナルド。あなたらしくもない」

マクドナルド「おおてびんわんおんがくプロデューサーのチズがきている！」

ステファニー「きゃあ！」

アルバ「なんだって！ そのチズって人はすごい人なのか？」

ステファニー「すごいものにも、チズが目をつけたバンドででんせつにならなかったバンドは一つもないのよ」

マクドナルド「なぜこんなところにきているんだ」

アルバ「そうだよ。チズはこんなしがないバンドかいじょうなんてきつとじんせいでもきたことなんてないだろう!？」

クリス「・・・おれがれんらくした。なぞのじょうほうつうのぎようかいかんけいしゃをよそおってとくめいでな」

ステファニー・マクドナルド「クリス!」

クリス「それくらいおれはこのバンドがでんせつになるポテンシャルがあるとしんじているんだ。どうした? おじけづいたか?」

アルバ「いや、だいじょうぶだ。もんだいない。ぼくたちはぼくたちのだせるさいこうをみせるだけだ」

ほか三人「うん」

ナレ「そしてついにときはみちた! かれらのおんがくを人はどうむかえいれるのか!？」

ざわざわしたなか、チューイングをはじめアルバ。ざわざわはいつしゅんでしずまりかえり、チズの目がするどく光る。つかえるようがくがながれる。ロパクでうたうクリス。ねっきにつつまれるかいじょう。それぞれのえんそうしているすがたがぬかれる。けっこうメインでうつるアルバ。あせのほとばしるパフォーマンスタイム。

メアリー「おんがくって、ここまで人をかえるのね・・・」

ラストのクライマックス。えんそうがおわりいつしゅんのせいじゃくがおとずれるかいじょう。

チズ「これは、これは、・・・。ほんものやで」

あついかんせいにつつまれるかいじょう。

クリス「やったな。アルバ」

アルバ「・・・ああ」

マクドナルド「やはりあのギターはまちがいなかったようじゃな」

クリス「ああ、そうだな」

ステファニー「え、どういうこと？」

クリス「あのギターは、でんせつのギターなんだ」

ステファニー「え？」

マクドナルド「れきだいのでんせつのギタリストたちはぜんいん、あのギターからはじめ  
た」

クリス「どういわけかさいのをもとめて、もちぬしをえらぶんだ。あのギターは」

ステファニー「てことは、かかって・・・」

アルバ「みんな。きょうからおれたちが、でんせつのバンドマンだ」

あついエンドロールがながれる。かん。